

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間： 2013年1月1日から2024年12月31日までの間に、もやもや病 のために虎の門病外科脳神経外科に入院・通院し、 複合バイパス術 を受けられた方

【研究課題名】

前大脳動脈領域虚血を有するもやもや病患者に対する直接血行再建術の治療成績—3次元合成画像による手術シミュレーションの有用性についての検討—

【研究の目的・背景】

(1) 目的

もやもや病に対する標準術式は浅側頭動脈（STA）-中大脳動脈（MCA）バイパスや側頭筋を用いた間接バイパス（Encephalo-myo-synangiosis :EMS）ですが、前大脳動脈（ACA）領域の虚血に対しては効果が不十分なことがあります。本研究では、ACA 虚血に対する STA-ACA 直接バイパスの有効性と、3次元融合画像による手術シミュレーションの有用性を検討する。

(2) 意義

ACA 領域の虚血を有するもやもや病患者に対する治療方法や治療成績を比較検討することにより、もやもや病に対する個別化医療についての知見が得られる可能性があります。

【研究期間】

2025年11月20日 ~ 2026年3月31日 研究終了日

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院 において研究終了後 5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【診療情報を虎の門病院外へ提供はありません】

【利用する診療情報】

診療情報： 検査データ、診療記録、MRI 画像データ、CT データ、SPECT 画像データ
薬歴、看護記録など

【研究代表者】

虎の門病院・脳神経外科・原貴行

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：脳神経外科・原貴行

研究機関の長：院長 門脇 孝

【利用する者の範囲】

該当なし

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年2月28日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様へ不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 ・脳神経外科・原貴行

電話 03-3588-1111(代表)